

北海道オホーツク。この地域の畑の土は、生き生きとして見える。土の中では、何万もの微生物が活発に動きまわり、生命力あふれる土壌を作っている。肥沃な土が栄養分をたっぷりと与えて、生き生きとした健康的な作物を実らせる。そして人は、そんな作物を体内に取り入れることで、健康的で幸せな毎日を送ることができる。ここでは、土と作物、作物と人が、まっすぐにつながっている。

私たち環境大善が提供する『液体たい肥 土いきかえる』は、牛の尿を独自の技術で発酵・培養した「善玉活性水」を使用して製造した土壌改良材です。水に混ぜて土に蒔くだけで、土壌改良効果と植物の生長促進効果が得られます。

土壌中の窒素循環活性、リン循環活性を向上させ、作物や植物が肥料を吸収しやすくする状態を作り出します。また、有機肥料や化成肥料と併用することで相乗効果を発揮し、未使用時と比べると、作物や植物の根の伸びや太さに格段の差を生み出します。

オホーツク地区では、芋、玉ねぎ、人参、ビート、小麦、ハウス野菜などの収穫量を増やし、農家の皆さんに、長年にわたって愛され、使用され続けています。

そのほか、ホウレン草、スイカ、トマト、キュウリなどの連作障害が発生した畑でも高い効果を発揮しています。

『液体たい肥 土いきかえる』は、今、東南アジア諸国でも注目を浴び、

土壌改善が重要課題のベトナムやカンボジアなどにも、年間100トン近くの製品を輸出しています。

環境大善は、世界中のどの国においても環境の改善に貢献できるよう、さまざまな研究開発を進めています。

私たちは、なにも100%の無農薬栽培や有機栽培を推奨しているわけではありません。

ただ、農薬の有無にこだわり過ぎなくてもよいのではないかと考えています。

科学の進歩によって生まれた農薬や化成肥料、自然の力を生かして作られた、環境にやさしい「善玉活性水」。

その二つの最適なバランスを考え、微生物、植物、動物、そして人間にとつて

「居住まいのよい社会」を創ることが、人の毎日の健康と、世界の農業の劇的な発展につながると信じています。

私たちが考えた、牛の尿を再利用したアップサイクル型循環システムを

より多くの農家の皆さんに知っていただき、使っていただくことで、

環境を保護しながら持続可能な農業の発展を実現できると考えています。

環境大善は、今だけでなく、未来を見据えた農業を目指しています。

そして今日も、人を幸せにする土の健康と、地球の健康に正面から向き合っています。

幸せは、
「土」から
始まる

地球の健康を見つめる



環境大善